

口腔衛生学会雑誌投稿規程（令和4年3月11日改正）

- この規程は口腔衛生学会雑誌に掲載する原著(Original Article: 口腔衛生学上の新規性と独創性があり、かつ明確な結論と理論的考察を有した論文)、総説 (Review Article: 複数の口腔衛生学に関わる文献や資料に基づいた総括的な論評)、論説 (Special Article: 口腔衛生学の教育・研究・臨床および口腔衛生の活動・政策・動向などについての提言)、症例報告 (Case Report: 口腔衛生・予防歯科に関する症例) または報告 (Report: 口腔衛生に関する実践、活動、材料、技法および研究) および資料 (Information: 口腔衛生学上有用なデータ) の投稿について規定する。本規程に記載されていない事項については、その都度、編集委員会で決定する。なお、講演集については別に定める。
 - 投稿は本会会員に限る。共著者が会員でない場合は、その氏名を本会雑誌に発表できない。
 - 本会雑誌に投稿する論文は、口腔衛生に関するものであって、他の雑誌に投稿や発表または大学の図書館リポジリーで公開していないものに限る。
 - 原稿はメール投稿によって送付すること。投稿の要領については日本口腔衛生学会ホームページ (<http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/>) を参照すること。
 - 総説、原著、論説、報告および資料は、原則として刷り上がり10頁以内とする。
 - 印刷に要した費用は、原則として著者負担とする。ただし、刷り上がり8頁までの印刷費の一部は学会が負担する。
 - 原著および論説の掲載は受理順とする。
 - 原稿の書き方は次の要領による。
 - 原稿は和文または英文にする。
 - 和文原稿は新かなづかい、ひらがな横書きとする。ワード・プロセッサ使用の場合は、A4判用紙に12ポイントの活字を用いて提出する(25字×30行、余白左30mm、右70mm、上下とも20mm)。英文原稿はA4判用紙にダブルスペースで12ポイントの活字を用いる(余白は和文原稿と同じ)。
 - 表題、著者名、所属および必要があれば指導者名の順序に書き、本文は別葉から書き出す。
 - 原稿の構成は原則として、はじめに(またはまえがき、緒言)、材料および方法(または対象および方法)、結果および考察とする。
 - 本文が和文の場合: 概要(600字以内)と3~5語程度の索引用語をつける。英文の表題、著者名、所属(必要があれば指導者名)、Key words ならびに英文抄録(500 words 以内)をつける。ただし、症例報告、報告および資料はKey words ならびに英文抄録を省略することができる。
 - 本文が英文の場合: 英文抄録(300 words 以内)と3~5単語程度のKey wordsをつける。和文表題、著者名、所属(必要があれば指導者名)、索引用語ならびに概要(1200字以内)をつける。
 - 和文論文内の英文抄録、英文論文の本文、図表はネイティブチェックを受けておく。
 - 本文の区分は次の通りとする。大見出しは上下1行あけ、中見出しは上のみ1行あける。小見出しは行をあけない。
 - 度量衡単位は、g, mg, µg, m, cm, mm, cm², L, mL, µL などを用いる。
 - 図表の説明は原則として本文と同一の言語とし、図1, 表1のように書く。また、本文中の挿入箇所を、本文原稿の該当部分の欄外に図1などと朱書きしておく。
 - 原稿の終わりの空欄に「著者への連絡先」として、
 - 代表者氏名・郵便番号・住所・電話番号・Fax 番号・e-mail アドレスを入れる(和文と英文)。
 - 文献はその引用箇所には引用順に番号を付し(例えば、奥村¹⁵⁾、…といわれる²⁰⁾、のように)、本文の末尾には番号順に次のように書き入れる。
 - 雑誌の場合
著者名(3名まで記載)、表題、雑誌名(略号でよいが、一般に認められているものとする)、巻、頁、年の順に書く。
 - 例:
 - 安細敏弘, 浜崎朋子, 粟野秀慈ほか: 福岡県下80歳者の口腔内状況と運動機能の関連性について. 口腔衛生学会誌 50: 783-789, 2000.
 - Wang J, Someya Y, Inaba D et al.: Investigation of mineral changes in subsurface enamel lesions using an electrical caries monitor *in vitro*. J Dent Hlth 50: 59-65, 2000.
 - 単行本の場合
著者名, 表題, 発行所, 発行地, 版, 年, 引用頁の順に書く。
 - 例:
 - 中村四郎: 新口腔保健学, 医歯薬出版, 東京, 第1版, 2000, 167頁.
 - Miller JS: Gingivitis. In: Hine MK, Hay HC, editors. Preventive dentistry. Mosby Co., St. Louis, 2nd ed., 1999, pp. 98-102.
 - Robins SL, Matthews JB: 齊藤五郎(監訳): 衛生公衆衛生学, 南江堂, 東京, 1999, 255-291頁.
 - インターネットウェブサイトから引用する場合、引用箇所には引用順に(*1のように)番号を付し、その頁の欄外に脚注としてそのアドレスを掲載する。
例: *1World Health Organization: Continuous improvement of oral health in the 21st century. http://www.who.int/oral_health/en/ (2005年10月1日アクセス)。
 - この投稿規程に当てはまらないものは受け付けない。
 - 投稿論文の採否は、複数の査読委員の意見を考慮して、編集委員会が決定する。
 - 受理された論文の著者校正は初校のみとする。
 - 「会員の声」欄の投稿については第51巻5号を参照すること。
 - 「論文奨励賞」については第63巻4号を参照すること。
 - 掲載された論文の著作権の譲渡にあたって、承諾書は日本口腔衛生学会ホームページよりダウンロードし、署名、捺印(外国人については捺印は不要)を行い、投稿時に下記事務局宛に郵送する。本誌に掲載された著作権(著作財産権 copy right)は本学会に帰属するものとする。
 - 本誌掲載の著作物の複写権、公衆送信権は本学会に帰属するものとする。
 - 疫学研究、臨床研究および動物実験に関しては、倫理審査委員会等による審査を受け、投稿原稿の「材料と方法」の項にその旨を記載する。承認した倫理審査委員会の名称および承認番号を記載する。
 - 利益相反に関する言及が必要な場合は、謝辞に記載する。
- 承諾書送り先、および投稿全般に関する問合せ先:
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 口腔保健協会内
日本口腔衛生学会事務局編集係
電話: 03-3947-8894 FAX: 03-3947-8073
メール: hensyu8@kokuhoken.or.jp

口腔衛生学会雑誌発行予定

1号(1月30日) 2号(4月30日) 3号(7月30日)
4号(10月30日) (講演集は増刊号)

論文作成用のテンプレートが学会ホームページ内 (<http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/journal.html>) からダウンロードできるようになりました。論文投稿の際、ご利用ください。